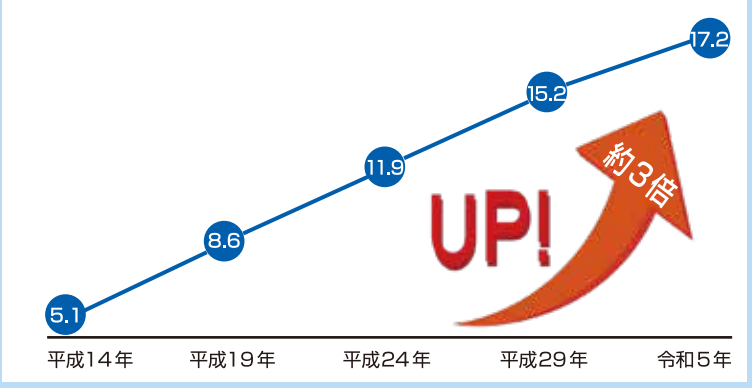
基礎断熱には

スタイロフォーム™ が最適!!

基礎断熱の採用率が急増中

（平成14年度比の約3倍に増加）



参考： 床下換気措置に関する実態調査より

住宅金融支援機構 住宅仕様実態調査報告（令和5年度）より

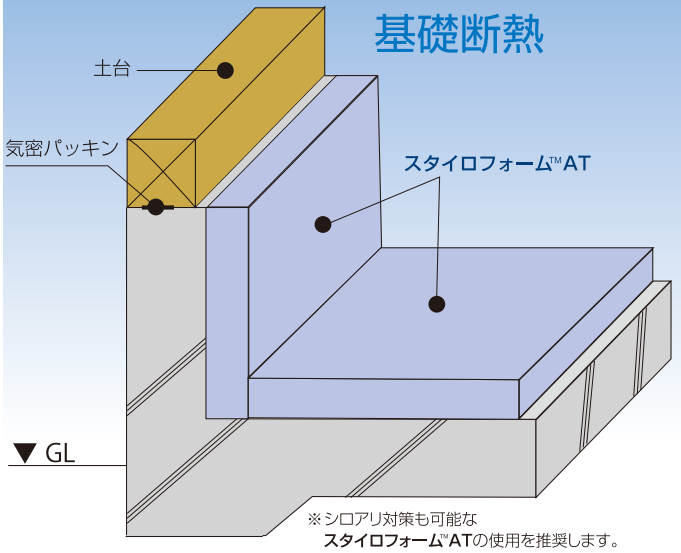
木造住宅の高気密化を容易に実現！

全館空調と相性抜群！

寒冷地だけでなく温暖地でも採用増加中！

温熱環境を支えて半世紀 信頼のブランド スタイロフォーム™

基礎断熱



※シロアリ対策も可能な
スタイロフォーム™ATの使用を推奨します。

優れた性能と加工のしやすさによって、多くの施工現場に採用されています。

1 熱を伝えにくい	2 水を吸収しにくい	3 軽くて丈夫	4 加工が簡単
5 優れた断熱性能	6 多用な派生商品	7 環境・健康への配慮	8 安定した品質と供給

基礎断熱設計・施工に係る留意点

◆シロアリによる被害防止

シロアリによる被害を防止するため、シロアリの侵入経路となる基礎貫通配管および打継目地等には、防蟻対策を講じてください。

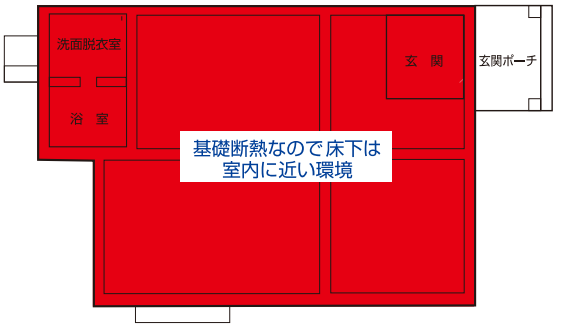
◆床下結露・カビ防止

建設時は、基礎コンクリートが十分に乾燥したことを確認したうえで、床板を施工してください。竣工後1～2年程度は、基礎コンクリートから水分が放散されることから、換気設備等により床下空間の乾燥状態を維持してください。

浴室と玄関 周りだけから全面に！

床断熱の場合でも赤い部分は基礎断熱となります





デュポン・スタイロ株式会社

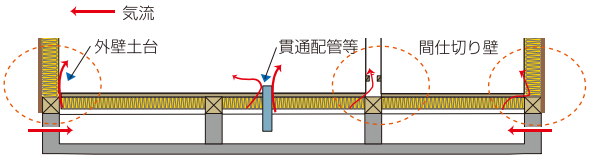
基礎断熱おすすめポイント

土台・床部の気密性を高めやすい

床断熱工法を採用した住宅では、土台部の気流止めと床貫通配管等の気密措置が必要です。気密措置が不十分な場合、コンセント周りや給排水菅周りから冷たい外部空気が流入します。

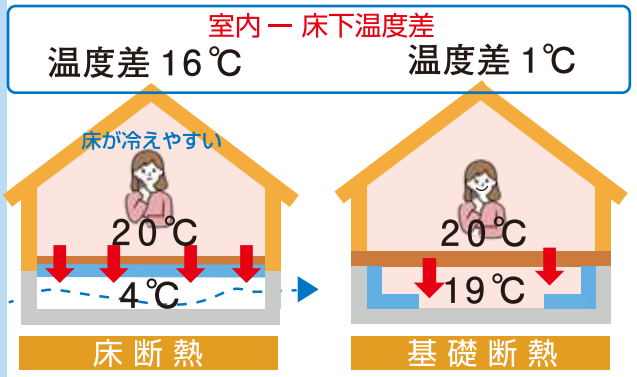
基礎断熱工法の建物では、床下空間が室内空間の一部に取り込まれますので、右の図の様な外部空気が室内に流入する心配がありません。よって、気密工事の確実性が高まります。

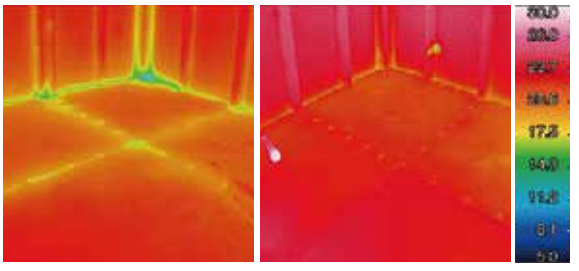
床下空気の流入経路



床の温度ムラが起きにくい

床下空間の温度が室内温度に近く、床下に熱が逃げにくいため、床の温度低下や温度ムラを抑制できます。





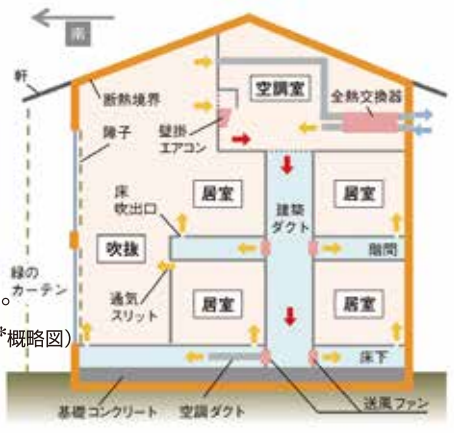
床 断 熱　基 礎 断 熱

● サーモカメラ画像：同一形状の建物にて比較した結果

床下空間の有効活用

床下空間が、室内に取り込まれるので土間コンクリートの蓄熱性を有効活用した先進的な空調システムを取り入れることが可能となります。

(例：YUCACO システム*概略図)



＊ YUCACO システム研究会が推奨する全館空調システムです。

床下空間を利用したアイデアプランを実現します。例えばリビングのレベルを下げたスキップフロア・床下収納など。



DUPONT™ デュポン・スタイロ株式会社

本社／〒100-6111 東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー

お問い合せ(全般)https://www.dupontstyro.co.jp/inquiry.php

https://www.dupontstyro.co.jp/

デュポン™、デュポンオーバルマーク、並びに™、℠、及び ® 表示のあるすべての標章は、米国デュポン社の関連会社の商標又は登録商標です。